

2021年12月15日

各位

iHeart Japan 株式会社

スタ★アトピッチ Japan に出場

再生医療を“特別な治療”から“当たり前の治療”にする iHeart Japan 株式会社（本社：京都市、代表者：角田健治、以下では「当社」）は、日本経済新聞社が主催する第3回スタ★アトピッチ Japan の近畿ブロック大会に出場したことをお知らせいたします。

ブロック大会では、バーチャル・ピッチランが行われており、ピッチラン動画をスタ★アトピッチ公式ホームページでご覧いただけます。当社取締役の古里恭祐によるピッチラン動画もございます。皆様のご期待に添うべく、精一杯努力いたしますので、「評価する」ボタンを押し、ご支援くださるよう、お願い申し上げます。

以下のウェブページで当社取締役の古里恭祐によるピッチラン動画をご覧ください

https://staatpitch.nikkei.co.jp/single-vol03.php?id=b06_02#singleMv

【スタ★アトピッチ Japan について】

スタートアップや若い後継者候補による「アトツギベンチャー」が集う、ピッチランの全国大会です。これからの日本経済発展のカギを握るのは、イノベーションを担うスタートアップとアトツギベンチャー。両社が広く社会に認知され、更なる飛躍のきっかけとなる機会を提供し、日本経済活性化につなげていきたい。そんな想いから始まった、日本経済新聞社の大型企画です。（※スタ★アトピッチ Japan 第2回大会報告書から引用）

【iHeart Japan 株式会社について】

当社は、2013年に設立されて以来、iPS細胞から分化させた心臓や血管などの細胞から成る多層体（以下では「IHJ-301」）を拡張型心筋症や虚血性心筋症による重症心不全の治療に役立てるべく、再生医療等製品開発に取り組んでおり、国立大学法人京都大学、国立大学法人東京大学などと連携しながら、IHJ-301の開発をしています。

<http://www.iheartjapan.jp/>

【IHJ-301 について】

健常ドナーの細胞から作製した iPS 細胞から分化させた心臓や血管などの細胞を培養加工した薄膜の層とゼラチンハイドロゲル粒子の層から成る心血管系細胞多層体です。肋骨の間を切開して移植するという比較的低侵襲な手術で心臓に移植することを想定しています。

問い合わせ先

iHeart Japan 株式会社 事業部 広報担当

info@iheartjapan.jp